



# ぬま健司事務所

(事務所) 古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103  
 電話/FAX: 092(944)2639

(議会事務局) 古賀市 駅東1-1-1  
 電話: 092(942)1134  
 FAX: 092(942)1160

(自宅) 古賀市 花見東5-4-10  
 電話/FAX: 092(943)4427  
 電子メール: ny2k-nm@asahi-net.or.jp

Facebookを利用しています！  
 ホームページもご覧ください  
[numakenji.jimdo.com/](http://numakenji.jimdo.com/)

## シンクタンクをめざしています！

- ◎「最新の情報発信」
- ◎「長年の経験・情報の蓄積・継承」
- ◎今後の古賀市や地方自治体の政策づくりに貢献

## パワーポイントで出張報告を実施中！

- ①ホームページやFacebookで情報の発信
- ②毎月1回、事務所で報告会や学習会を開催
- ③パソコン、プロジェクター持参で「出前報告会」
- ④様々な相談活動や無料法律相談

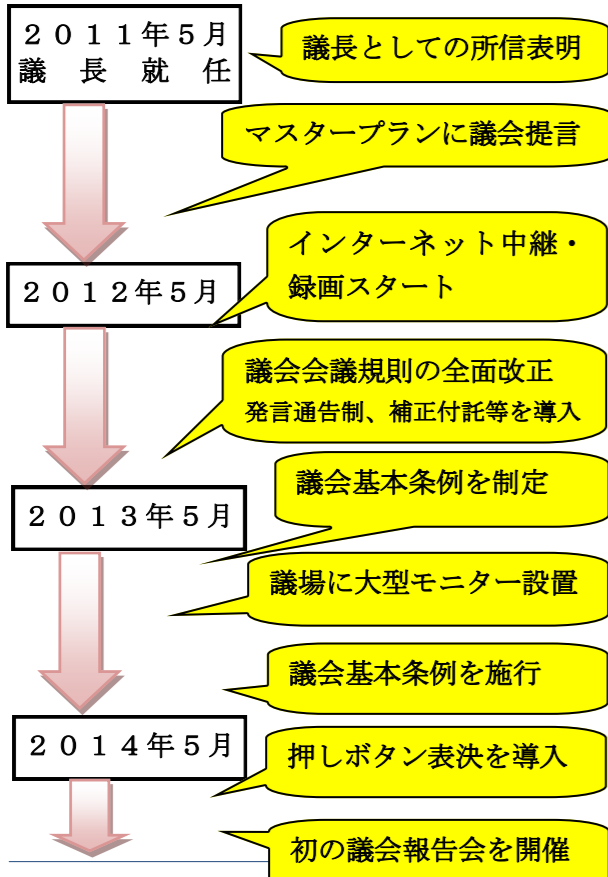


動画で見れる議会の様子

## ぬま健司のプロフィール

- ・1952年(昭和27年) 4月17日生まれ
- ・千葉大医学部中退
- ・1995年町議に初当選 現在5期目
- ・途中で市長選挙にも立候補
- ・2011年5月から古賀市議会議長
- ・妻、息子、娘の4人家族

## 議長に就任して3年 インターネット中継と議会基本条例が誕生



私のモットー  
 情報は民主主義の  
 ビタミン剤



パネルを活用して挨拶(校区コミュニティ総会)

# 古賀市議 ぬま健司のニュースレター

HP [numakenji.jimdo.com](http://numakenji.jimdo.com/) / facebookでもニュースを発信!



古賀市議会 議長  
奴間 健司

## ハイライト:

- ・6月定例議会を開催中
- ・7月18日、19日、20日に初の議会報告会
- ・「暮らしの保健室」の視察報告

## 6月定例議会を開催中です 6月10日~25日



ここに議員ごとの  
 賛否が表示されます

ボタン採決を初めて導入(古賀市議会議場・6月12日)

古賀市議会は6月10日から25日まで定例議会を開催して、議会傍聴ないしはインターネット中継・録画ご覧いただけます。6月19日と20日に、8人の議員が一般質問を行います。

## 第1回議会報告会にお越しください!

古賀市議会として初の議会報告会を以下のとおり開催します。お気軽にお越しください。

7月18日(金) 千鳥苑・大広間 午後7時  
 7月19日(土) 谷山公民館 午後7時  
 7月20日(日) リーパスプラザ大会議室 午後7時

議員が3班に分かれて各会場の運営に当たります。私は3会場とも出席しあいさつをいたします。

## 目次:

- 「暮らしの保健室」の視察報告 2
- 花見東2区公民館の取り組み 3
- 議長に就任して3年 4

## 6月定例議会のポイント

- ①「自治基本条例」を策定する委員会の条例案を審議、議決します。
- ②消防団員の退職報奨金の増額を審議、議決します。
- ③障がい者の就職を支援するための補正予算を審議、議決します。
- ④8人の議員が一般質問を行い、市長と議論します。



### 視察報告

#### 「暮らしの保健室」（東京・戸山ハイツ）を視察

5月29日、東京都新宿区・戸山ハイツにある「暮らしの保健室」を視察してきました。室長の秋山正子さんとボランティアの方から詳しく説明をお聞きしました。

戸山ハイツは高度経済成長の時に建設され3300世帯。高齢化率は今や50%となっています。

「暮らしの保健室」は、2011年7月に「ケアーズ白十字訪問看護ステーション」が開設しました。

秋山正子室長は20年にわたって在宅医療・在宅ケアを担ってきました。一人暮らしが増え、どこに相談していいかわからず孤立している方が増加している現実と直面。

厚生労働省の「在宅医療連携拠点モデル事業」の指定を受け、無料で健康相談に乗ったり、専門職同士をつないだり、在宅の不安を埋める取り組みを続けています。

「暮らしの保健室」は、お茶を飲みながらゆったり過ごせる空間になっています。そこでは、在宅で家族を看取った経験のあるボランティアさんが、健康や生活に関わる様々な相談に耳を傾けます。

そして医療、介護、生活面で看護師、栄養士そして給付金アドバイザーが専門的な相談支援を行っています。

この日はNHKが密着取材をしていました。今年9月にNHKスペシャルで「暮らしの保健室」を紹介するとのことでした。

超高齢化社会を迎える中、医療や介護、福祉のはざまに困っている方の相談に乗る「暮らしの保健室」は全国どこでも必要になると感じました。

秋山正子さんはイギリスのがん患者のための施設「マギーズセンター」が日本でも必要と考えています。相談支援の新しい在り方です。

「病院だけが療養の場ではない。在宅療養の方が経過が良いケースもある。もっと多くの人に知ってほしい」と秋山さんは述べています。

「暮らしの保健室」は高層団地の1階にあります。本屋さんが撤退したあとを借りて開設。入り口で秋山正子所長と記念写真を撮りました。



ガン患者さんのレシピ集を発行した管理栄養士の川口美喜子さんがお料理を作っていました。たいへん美味しそうでした。

東京医大付属看護学校の学生が在宅看護の実習に来ていました。



「暮らしの保健室」には家族を自宅で看取った方がボランティアで活動。患者、家族の気持ちがかかるだけに、心のこもった相談支援になっています。



### 実践報告

#### 「暮らしの保健室」を参考にした古賀市での取り組み

古賀市の高齢化率は21%。しかし地域によっては30%、40%のところもあります。地域に根差した高齢者対策は緊急課題です。

花見東2区のような取り組みはすでにいくつかの地域でも実践されています。古賀市内46行政区区すべてに広げたいところです。

古賀市は2014年度から「ヘルス・ステーション」という名称で公民館単位の健康づくりに着手。校区担当の保健師、管理栄養士などのチームを編成しています。

古賀市・花見東2区公民館では、第2、第4木曜日の午前11時から午後3時まで「木よう館」を開設。50円のお茶代で自由にくつろげる喫茶コーナーです。

その「木よう館」に古賀市の保健師やヘルスマイトさんに来てもらいました。血圧や骨密度を測定し、気軽に健康相談に乗りました。



「木よう館」の参加者から交通手段がなく買い物が不便との声を聞きました。そこでグリーンパークの物産館から野菜や果物、生花の移動販売に来てもらいました。大好評で、6月から月2回実施します。

5月には、古賀市内にある福岡女学院看護大学で保健師をめざす学生が来てくれました。聞き取りとアンケートで地域診断を試みる学習。若い来客に参加者は大喜びで、公民館には素敵な笑顔があふれていました。

